洪水ハザードマップとは

洪水ハザードマップとは、洪水・はん濫に関する情報と避難方法などを住民の皆様に提供することにより、日頃からの防災意識を高めるとともに、いざという時に安全かつスムーズな避難行動につなげ、被害を最小限にすることを目的とした地図です。大雨によって河川がはん濫した場合に浸水する範囲や深さを予想した浸水情報、はん濫時の避難場所、水害に対する知識や心得など、浸水が想定される区域からの住民の安全な避難に必要となる各種の情報をわかりやすく表示しています。

なお、この洪水ハザードマップは、国土交通省及び埼玉県のご協力をいただき、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町及び江戸川水防事務組合と連携し作成したものです。

洪水の想定は？

洪水の想定は、河川の大きさや整備の状況により異なりますが、大雨で堤防が壊れたり、水があふれたりする洪水を想定しています。

●利根川・江戸川

利根川流域、八斗島（やったじま）上流域の3日間総雨量318mm（200年に1回）

●荒川

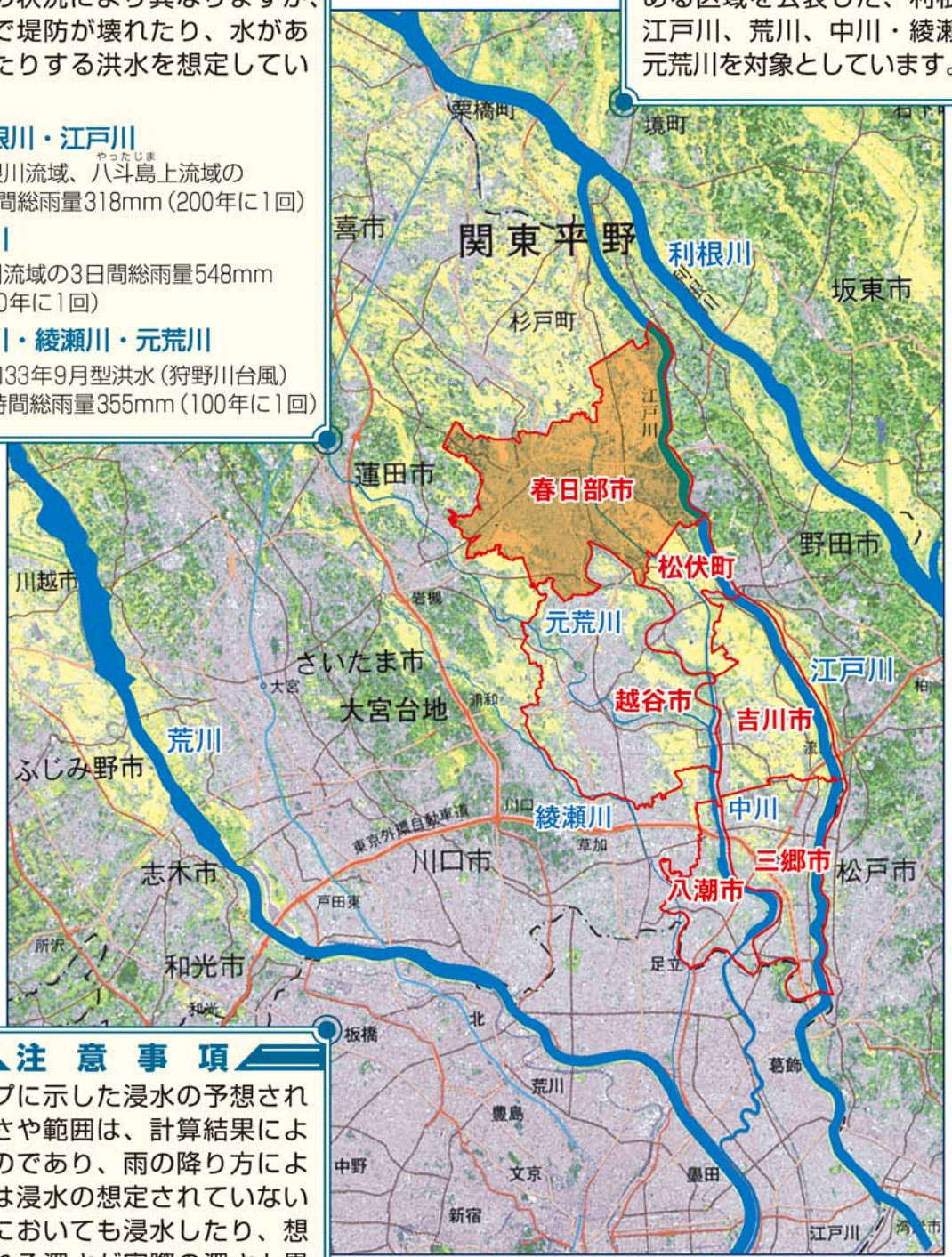
荒川流域の3日間総雨量548mm（200年に1回）

●中川・綾瀬川・元荒川

昭和33年9月型洪水（狩野川台風）48時間総雨量355mm（100年に1回）

対象となる河川は？

国または県が、浸水のおそれのある区域を公表した、利根川、江戸川、荒川、中川・綾瀬川・元荒川を対象としています。



埼玉県南東部広域洪水ハザードマップ作成協議会
（構成：春日部市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町 及び江戸川水防事務組合）

注　意　事　項

マップに示した浸水の予想される深さや範囲は、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては浸水の想定されていない地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さと異なる場合があります。